

題 言

合理的に單純化したる中央線の電化工事

中央線電化工事も飯田町甲府間一二八軒を完成して、本號に其の清明なる美の山嶽鐵道を紹介するに至つた。八王子甲府間は多くのトンネルと蒸汽列車の煤煙の爲めに、多數の旅客に永く不快の印象を與へたものであるが、今日電化列車となつては實に清爽として浩々然たるものがある。

工事としては營業線の電化なる故、幾多の施工難を伴つてゐるが、東京電氣事務所は曾て東海道線の電化に依る豊富なる經驗により、本工事を最も合理的に單純化し、各種の經濟的施工を行ひ、官營の斯種工事としては斷然新機軸を發揮したものである。

一例を見るに、電車線支持用ビームに特種の考案になるV型トラスドビームを用ひ木柱をラーメン式に組み徑間25米のものを架設した。斯は支柱構造の經濟的の一大進歩で、斯の爲め舊來の停車場等に於て線路間隔狹く建築限界の關係上、建柱位置を極限さるゝ如き電化工事には非常なる便利である。尙ほV型ビームの特徴は從來柱の位置に限られた添加電線路がビーム上の自由な位置に撰定出來得る事で、此は工事施工上にも保守上にも非常なる便利である。

其他百米の柱間距離に特種の吊架線工事を施し、又は變電所内外の設備構造等を出來る丈に簡單化したる如き、日本の代表的な電化工事として幾多の好範例を残したものである。

東京地下鐵の特種隧道工法

昨年の春から我が工事畫報が掲載準備の計劃をしてゐた東京地下鐵道會社の隧道特種工事の寫眞及圖面は漸く本月號に紹介する事が出來た。此の特種工法は寫眞及圖版ともに最も撰擇されたもので、各其工事狀況を明瞭に知る事が出來る。

昨年竣工した東京市の愛宕隧道も本工事と殆んど同様な施工法で、既に本誌に紹介した通りであるが、東京地下鐵道會社の工事は交通頻繁なる市内の路面に堅坑を掘下け、然も隧道側壁に接して省線高架橋の基礎杭があり、その他地下水等の作用もあり、隧道掘鑿中萬一地盤にユルミを生ぜんか、周圍の構造物に影響を及ぼし、都市交通保安上重大な問題を生ずべきを以て、之が施工は各方面から多大の注意を拂つてゐたものである。幸にして何等の事故なく今や完成に近づいた事は、全然合理的工法の適切なりしが爲で、我が工事技術界の爲め愉快に耐へない。一面に又近代日本の新銳工事の一として世界に誇り得べきものである。

アークウエルドの圖解

工事畫報が先に電弧銲接特輯號を發行して、銲結工法に代るべき斯の新銳工法の普及に努めたるに、幸にして土木建築工事關係に意外の好影響を與へた事となつた。我々は良きものを良しとして之が徹底的普及を圖るに寸毫の躊躇するものではない。本號に於て『圖解電弧銲接教程』を掲載したる所以は、アークウエルドの施工基本知識を最も通俗に普及せんとする意味からである。